

第85回国民スポーツ大会等に対する財政支援の拡充

【担当省庁】スポーツ庁

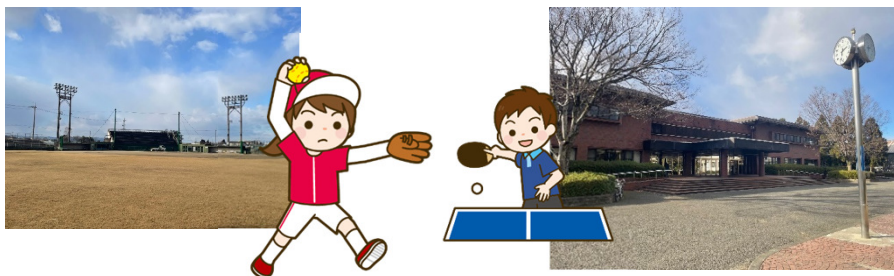
市町村における取組

(現状・課題)

令和13年度に開催される第85回国民スポーツ大会及び第30回全国障害者スポーツ大会(本書中、国スポ等)において、桜井市は「ソフトボール」および「卓球」の全種別の開催意向を示している。

国スポ等を開催するためには、開催会場の整備のほか、大会運営やおもてなしに要する費用が必要である。特に当市の場合、財政的な制約がある中で、大会を盛り上げ、地域の活性化につなげるためには、国からの支援が、不可欠であると認識している。

その開催会場となる当市の芝運動公園「運動場」と「総合体育館」は、昭和59年の「わかくさ国体」を契機に整備されたもので、築40年以上経過しているため、施設全体が経年劣化が顕著な状況にあり、またLEDや空調設備の更新に多大な事業費を要することが見込まれる。



また近年、国スポ等は「スポーツツーリズム」の側面を併せ持っていることから、選手やその関係者のみならず、観光目的でも多くの方々が桜井市に来られることが想定でき、国スポ等は単なる競技会ではなく、地域の観光資源や特産品を紹介する場でもあると考えている。

市町村名 桜井市

桜井市としては、豊富な観光資源・地元産品をアピールするとともに、「また来たい」と思ってもらえるような「おもてなし」を提供したいと考えている。

このように大会を通じて地域の魅力を発信し、観光客を呼び込むことができれば、地域経済に大きなプラスとなることから、国からの支援が必要不可欠である。



国にお願いすること

国スポ等はスポーツを通じて地域社会全体の活性化につながる重要な施策・イベントですが、多くの財政支出が伴うことが見込まれるため、まず、「施設整備」への支援として、既存のスポーツ施設などのスポーツインフラを充実するには大きな費用を要しますので、更なる助成対象の拡充をお願いする。

また「地域振興策」への支援として、国スポを契機に地域振興策を展開するための資金、観光資源のPR活動や地元産品の販売促進など、地域全体で国スポ等を盛り上げるための取り組みに対しても多大な支援をお願いする。

【担当部署】 桜井市社会教育課